

# 令和6年度 盛岡市出資等法人 経営状況調査表

(令和6年4月1日現在)

## 1 法人の概要

法人名	公益財団法人盛岡市スポーツ協会	所管課	スポーツ推進課
所在地	〒020-0866 盛岡市本宮5-4-1 盛岡市総合アリーナ内		
電話番号	(019) 601-5700	設立年月日	平成24年4月1日
代表者	会長 長澤 茂	<input type="checkbox"/> 常勤 <input checked="" type="checkbox"/> 非常勤	<input type="checkbox"/> 市OB <input type="checkbox"/> 市現職 <input checked="" type="checkbox"/> その他
設立目的	盛岡市における体育・スポーツの一層の振興を図ることにより、市民の体力の向上とスポーツ精神の涵養に資するとともに、盛岡市における体育・スポーツ諸団体の育成に寄与する。		
主要事業	① スポーツに対する意識の向上に関する事業 ② 市民の体力の向上を図る事業 ③ ジュニアスポーツの振興に関する事業 ④ 健康増進及び体育・スポーツ振興のためのスポーツ大会及びスポーツ教室に関する事業 ⑤ 施設の管理運営に関する事業 ⑥ その他この法人の目的を達成するための事業		

## 2 情報公開の状況

法人のホームページの有無	<input checked="" type="checkbox"/> ある (アドレス <a href="https://morioka-sport.or.jp/">https://morioka-sport.or.jp/</a> ) <input type="checkbox"/> 作成中・作成計画あり (公開予定時期 令和 年 月) <input type="checkbox"/> 作成予定なし
法人ホームページでの情報の提供内容(作成中の法人においては提供予定内容)	<input checked="" type="checkbox"/> 事業内容 <input checked="" type="checkbox"/> 財務状況 <input checked="" type="checkbox"/> 役員氏名 <input checked="" type="checkbox"/> その他(スポーツ少年団、スポーツ教室、施設情報等)
ホームページ以外での情報提供の方法	・盛岡市情報公開室への資料設置 ・「公益財団法人盛岡市スポーツ協会の保有する情報の公開に関する規程」に基づく情報公開 ・指定管理施設窓口や掲示板、インターネットによる施設予約状況の案内

## 3 職員構成

(単位:人)

		常勤			非常勤	合計	
			うち市OB	うち市派遣			
役員	理事	2	1	0	14	16	
	監事	0	0	0	3	3	
	計	2	1	0	17	19	
職員	管理職	正職員	7	0	0	0	8
		臨時職員	1	—	—		
	一般職	正職員	20	0	0	0	59
		臨時職員	39	—	—		
	計	正職員	27	0	0	0	67
		臨時職員	40	—	—		
前年度と比較して職員数の増減		増	0	減	0	常勤職員の平均年齢	47.8 歳
常勤職員の給与体系		<input type="checkbox"/> 法人独自の給与体系 <input checked="" type="checkbox"/> 市の給与体系を準用 <input type="checkbox"/> その他( )					

4 財政状況等

資本金 (基本財産)	101,194 千円	本市出資等額	58,000 千円	本市出資等割合	57.3 %
主な出資等者					
① 盛岡市			(出資等割合	57.3 %)	
② 加盟団体			(出資等割合	7.9 %)	
③ 一般企業等			(出資等割合	15.9 %)	
④ その他(協会自助努力)			(出資等割合	18.9 %)	
⑤			(出資等割合	%)	
令和6年度における当市の財的関与の状況	補助金	34,683 千円	(収入全体の	4.6 %)	
	負担金・交付金	2,124 千円	(収入全体の	0.2 %)	
	委託料	0 千円	(収入全体の	%)	
	指定管理料	473,581 千円	(収入全体の	63.1 %)	
	貸付金	0 千円	(収入全体の	%)	
補助金内訳					
① 事業費補助金		(令和6年度予算額	34,684 千円)		
②		(令和6年度予算額	千円)		
③		(令和6年度予算額	千円)		
負担金・交付金内訳					
① 市民スポーツ大会開催負担金		(令和6年度予算額	2,124 千円)		
②		(令和6年度予算額	千円)		
委託料内訳					
①		(令和6年度予算額	千円)		
②		(令和6年度予算額	千円)		
指定管理料内訳					
① 盛岡市総合アリーナ、盛岡市立総合プール、盛岡市都南中央公園プール及び盛岡市アイスリンク		(令和6年度予算額	291,090 千円)		
② 盛岡体育館及び盛岡市太田橋野球場		(令和6年度予算額	37,071 千円)		
③ 盛岡市立武道館及び盛岡市弓道場		(令和6年度予算額	31,511 千円)		
④ 盛岡南公園球技場		(令和6年度予算額	42,910 千円)		
⑤ 盛岡市立太田テニスコート		(令和6年度予算額	8,590 千円)		
⑥ 盛岡市立綱取スポーツセンター		(令和6年度予算額	10,929 千円)		
⑦ 盛岡市渋民運動公園、盛岡市立玉山運動場及び盛岡市立生出スキー場		(令和6年度予算額	40,783 千円)		
貸付目的	(貸付金がある場合記入)	利用料金対象施設	(利用料金制を採用している施設がある場合記入)		
		盛岡市総合アリーナ、盛岡市立総合プール、盛岡市都南中央公園プール、盛岡市アイスリンク、盛岡体育館、盛岡市太田橋野球場、盛岡市立武道館、盛岡市弓道場、盛岡南公園球技場、盛岡市立太田テニスコート、盛岡市立綱取スポーツセンター、盛岡市渋民運動公園、盛岡市立玉山運動場、盛岡市立生出スキー場			
		利用料金収入(令和6年度予算額)	170,180 千円		
		法人の収入全体の	22.7 %		

5 指定管理者となっている公の施設(現在、公の施設の指定管理者となっている団体のみ記入)

施設の名称	盛岡市総合アリーナ、盛岡市立総合プール、盛岡市都南中央公園プール、盛岡市アイスリンク、盛岡体育館、盛岡市太田橋野球場、盛岡市立武道館、盛岡市弓道場、盛岡南公園球技場、盛岡市立太田テニスコート、盛岡市立綱取スポーツセンター、盛岡市渋民運動公園、盛岡市立玉山運動場、盛岡市立生出スキー場
-------	---

## 6 法人の経営内容の詳細

### (1) 取組目標

指標名	単位		令和3年度	令和4年度	令和5年度
①施設利用者数	人	計画	934,000	962,000	1,015,000
		実績	619,769	766,417	861,715
②自主事業参加者数	人	計画	57,000	57,000	59,000
		実績	41,782	47,193	50,894
③収入	円	計画	666,848,000	660,431,000	712,176,000
		実績	643,820,305	685,236,867	664,566,244
④		計画			
		実績			

- ※ 1 中長期計画等を策定している場合、計画に盛り込まれている目標等を記載してください。
- 2 中長期計画等を策定していない法人で、毎年度の目標等を設定している場合は、その目標等を記載してください。
- 3 毎年度の目標等を設定していない場合は、法人の活動が具体的に数値として表れるものを記載してください。

### (2) 経営状況

※複数の会計を持つ法人は、合算して記載すること。

(単位:千円、%、人)

区 分		令和3年度	令和4年度	令和5年度
収支の状況	総収入	702,262	715,950	671,596
	当期収入(A)	655,816	710,733	703,562
	基本財産運用収入	1,441	1,441	1,441
	会費収入(入会金収入を含む)	0	0	0
	補助金等収入	35,072	58,949	39,228
	うち市からの補助金等(B)	34,683	58,893	39,171
	事業収入(C)	603,597	621,070	619,966
	うち自主事業収入	34,754	35,916	36,993
	うち市からの委託料(D)	0	0	0
	うち市からの指定管理料(E)	416,839	410,842	393,133
	スポーツ少年団事業収入	2,290	2,150	2,324
	施設利用料収入	140,846	159,139	170,516
	広告料収入	1,032	1,042	1,997
	その他事業収入	7,836	11,981	15,003
	繰入金収入	12,000	25,500	39,000
	市からの借入金	0	0	0
	その他の収入	3,706	3,773	3,927
	前期繰越額	46,446	5,217	▲ 31,966
	総支出	697,045	747,916	732,963
当期支出	697,045	747,916	732,963	
人件費	286,780	303,512	305,143	
事業費(人件費除く)	386,882	412,482	383,351	
管理費(人件費除く)	4,547	3,899	3,976	
資産取得支出	557	810	293	
財務活動支出	5,664	1,641	1,128	
繰入金支出	12,000	25,500	39,000	
その他の支出	615	72	72	

区 分		令和3年度	令和4年度	令和5年度
収支の状況	当期収支差額	▲ 41,229	▲ 37,183	▲ 29,401
	次期繰越収支差額	5,217	▲ 31,966	▲ 61,367
正味財産の状況	経常収益(F)	643,820	685,236	664,566
	経常費用	678,210	719,894	692,472
	当期経常増減額	▲ 34,390	▲ 34,658	▲ 27,906
	経常外収益	0	0	0
	経常外損益	0	0	0
	当期経常外増減額	0	0	0
財産の状況	資産(G)	273,810	235,677	212,741
	うち固定資産	119,177	117,162	115,212
	うち流動資産(H)	154,633	118,515	97,529
	負債	90,609	87,205	92,247
	うち固定負債	2,769	1,128	0
	うち流動負債(I)	87,840	86,077	92,247
	正味財産(J)	183,200	148,471	120,493
	うち当期正味財産増減額	▲ 35,006	▲ 34,729	▲ 27,977
財務指標	流動比率(H/I)	176	138	106
	自己資本比率(J/G)	67	63	57
	職員一人当たり収益高(F/(K+))	6,374	7,213	6,781
	当期収入に占める市補助金等の割合(B/A)	5	8	6
	事業収入に占める市委託料、指定管理料の割合((D+E)/C)	69	66	63
組織の状況	常勤役員数(K)	2	2	2
	うち本市OB	2	1	1
	うち本市派遣職員	0	0	0
	職員総数(L)	99	93	96
	うち常勤職員数	69	67	67
	うち本市OB	2	2	1
	うち本市派遣職員	0	0	0
	うち管理職員数	10	9	8
	常勤役員比率(常勤役員数/総役員数)	0.1	0.1	0.1
	管理職員比率	10	10	8
事業指標	① 施設利用者数	619,769	766,417	861,715
	② スポーツ教室参加者数	41,782	47,193	50,894
	③ 市民スポーツ大会参加者数	16,561	16,983	20,570
	④ スポーツ少年団登録者数	2,860	2,664	2,718

区 分		令和3年度	令和4年度	令和5年度
本市の財政的関与等の状況	補助金額	34,683	58,892	39,171
	① 事業費補助金	34,683	34,683	34,683
	② エネルギー価格高騰支援金	0	24,209	4,488
	③			
	負担金・交付金額	2,124	2,124	2,124
	① 市民スポーツ大会開催負担金	2,124	2,124	2,124
	②			
	委託金額	0	0	0
	①			
	②			
	上記のうち再委託額			
	上記業務の委託契約方法			
	指定管理料	416,839	410,842	393,133
	①			
	②			
	③			
	貸付金額			
損失補償額				
債務保証額				
令和5年度決算の概要				
<p>令和5年度は新型コロナウイルス感染症の5類移行により、スポーツ活動の活発化やイベントの再開が進み、施設利用者数や自主事業参加者数も増加し、施設利用料収入はコロナ禍以前の水準まで戻り、自主事業収入は8割を超えるまでに回復した。</p> <p>一方、費用面においては、定期昇給や社会保険料率の改定等による人件費の増加や消費税額の増加、全国大会等の出場に係る助成金の増加などがあったが、国の施策や契約先の変更により電気料金の大幅な削減がなされ、費用全体としても前年度より2,700万円以上減少した。しかしながら、燃料費に関しては依然として高騰が続いており、光熱水料費も含めたランニングコスト及び人件費が大きな負担となり収支を圧迫した。</p> <p>盛岡市による燃料費・消費税等の調整に係る指定管理料の増額や、エネルギー価格高騰対策支援金の支給がなされたものの、マイナス分を吸収するまでには至らず、最終的な当期経常増減額は▲27,905千円となり、3年続けて大幅な赤字収支となった。</p>				

7 所管課による財務状況についての点検評価結果

B	A:良好、 B:概ね良好、 C:改善を要する、 D:大いに改善を要する
<p>(コメント)</p> <p>令和5年度は、施設利用料収入及び自主事業収入が一定程度回復する結果となった。ただし、人件費の増加や光熱水料費等燃料費の物価高騰がのしかかり、当期経常増減額が赤字となった。</p> <p>累積欠損金がないことからB評価となっているが、厳しい状況が続いている。今後の社会情勢に適応した方法等での事業の実施を期待する。</p>	

※参考(別紙フローチャートによるチェック)

番号	質問	チェック欄	
		はい	いいえ
1	令和4年度決算において黒字である。		○
2	令和5年度決算において黒字である。		○
3	累積欠損金がある。		○
4	令和5年度決算において減価償却前黒字である。		○
5	事業計画どおりの償却前赤字である。	○	
6	概ね3年以内に単年度黒字可能である。	○	
7	累積欠損金があるが、対自己資本比率は50%未満である。		
8	累積欠損金があるが、対自己資本比率は50%～100%である。		
9	累積欠損金があるが、対自己資本比率は100%超である。		

※「累積欠損金」→「正味財産の部合計」